

単元名: 年中グリーティング作戦					
科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書名(対応)	-
話題分野	行事	言語レベル	2	必要時間数	集中8時間 以後毎月1回
I 単元目標					
韓国の交流校に祝日や年中行事ごとにお祝いメッセージカードを作ったり、年中行事にちなんだビデオレターを作って送ることができる。					
	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外 他教科
わかる					
できる					
つながる					
言語領域	文化領域		グローバル社会領域		
<ul style="list-style-type: none"> ◆祝日や行事のときに送るカードに簡単なメッセージを書くことができる。 ◆送られてきたカードを読むことができる。 ◆年中行事に因んだ歌を歌うことができる。 ◆お祝いのメッセージのビデオレターを作ることができる。 ◆わかりやすく面白いメッセージを送ることができる。(コミュニケーション・ストラテジー) ◆日本語母語以外のコミュニティにメッセージを発信し、やりとりをすることができる。(コミュニケーション・ストラテジー) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日韓の伝統的な行事と最近の潮流について比較し、理解することができる。 ◆民族によって祝う文化が違うことを理解する(在日や外国人の家庭の文化を知る)。 ◆日韓のさまざまな行事の過ごし方、祝い方を比較することができる。 ◆韓国独特の行事について理解し、まとめることができる。 ◆歌や文字などを通して、相手を思いやり、自分の感情を生き活きと伝えることができる。 <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆ビデオレターの作成、編集ができる。(情報活用) ◆お祝い事の過ごし方の異同を理解し、表現の方法とその背景にある民族性について考えることができる。(知識理解) <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>		
コミュニケーション能力指標	【行事】 2-a. 行事(年中行事、祝祭日、記念日、通過儀礼、イベントなど)の際に自分や自分の家族はいつ・何をするのか、口頭で紹介できる。 2-b. お祝いや記念日に何を贈るのか、それを選ぶ理由を含めて、簡単に言うことができる。 2-c. お祝いや記念日に贈るカード・メールに、簡単なメッセージを書くことができる。 2-d. 記念日に贈られたカードやメールの簡単なメッセージを、読んで理解できる。 2-e. お祝いや記念日に何をもらったか、誰からもらったか、その感想を含めて、簡単に言うことができる。 オリジナル: 行事(年中行事、祝祭日、記念日、通過儀礼、イベントなど)にちなんだ歌を歌うことができる。				
	<p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。</p>				
II 評価					
学習を助けるための評価 (形成的評価)			目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆各行事ごとのメッセージカードを作る。(表記の正しさ) ◆決まり文句とあいさつを言う。(発音の正確さ、メッセージの伝え方の適切さ) 			<ul style="list-style-type: none"> ◆1年分のメッセージカードを作る。(表記、内容、積極性) ◆ビデオレターを作る。(内容、流暢さ、積極性など) ◆歌を歌う。(表現力) 		

III 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆12個の行事から任意の9個を取り出し、ビンゴシートに書き出す。教師の簡単な説明を聞いて該当する行事があれば○をつけ、○が3個並んでビンゴが完成するまで繰り返す。【2-a】</p> <p>◆我が家の重大行事5つを選び、絵や写真を交えながら、その様子を簡単なハングルで紹介する。どんな会話が交わされるのかも紹介する。【2-a】</p> <p>◆韓国で販売されている記念日のカードを見て、どんなことが書かれているのかを考える。韓国では、どのように表現するのか先生から教えてもらって、自分でも書いてみる。【2-c,2-d】</p> <p>◆実際にカードにお祝いフレーズや定型句を書いてみる【1-e】</p> <p>◆自分の持ち物の中で友人や家族からもらったものを取り出し、それはいつ・誰に・なぜもらったのか、簡単な感想も含めて発表する。【2-e】</p> <p>◆年中行事にちなんだ歌を習って練習する。歌詞の意味を日本語でざっと理解する。【オリジナル】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> X高校の韓国語クラスでは、韓国の交流校に、親近感と思いやりの気持ちを伝えるために、祝日や行事のときに簡単なメッセージを添えてカードをクラス単位でやりとりすることになった。</p> <p><活動の流れ> 正月、子供の日、父・母の日、暑中見舞い、中秋節、体育祭、クリスマス、寒中見舞いなどの行事にあわせて決まり文句やあいさつを書き、イラスト、写真などを添えたカードをそれぞれの生徒が手作りし、クラスで見せあう。決まり文句やあいさつを一言ずつ言ったビデオレターも作る。 自分の家族はどんなときにどういふふうに住うのか、もらったものや送られたカードや年賀状などを見せながら日本の祝い方も紹介する。 クラス全員で年中行事にちなんだ韓国の歌を歌ってビデオやテープにとり、韓国の学校に送る。印象に残ったカードやビデオを韓国側から伝えてもらう。韓国からも同じように日本の行事にあわせてメッセージカードを送ってもらう、クラスに貼り出して観賞する。印象に残ったカードについての感想を踏まえた返事を分担して書く。</p> <p>ヒント ◆韓国の高校の代わりに、日本の朝鮮学校や韓国学校、オニ学校やハルモニ教室などに送る。 ◆近くに韓国語を扱う学校がなければ、韓国人留学生在が学んでいる地域の日本語学校などを紹介してもらって、同じようにカードやビデオを送る。</p>	
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 한국에서 제사는 중요해요. /우리 집도 일년에 몇 번 제사를 지내요. /그 날은 엄마를 도와드려야 해요. /언니한테 졸업선물도 가방 사줬어요. /대학 들어가면 필요할 것 같아요. /—씨와 만난 지 일년 됐어요. /생일 축하해요. 올해도 행복이 가득하기 바래요. /침구야 /사랑한다.</p> <p><表現のポイント> —아·어·여야 하다 /—르 것 같다 /—(으)면 /非敬語 /—(으)니·는데 /—(으)리지 /—아·어 주다 /드리다 /받다</p>	<p>贈り物に関する語彙(선물, 받다, 주다, 원하다, 갖고 싶다, 마음에 들다, 기념품, 볼펜)、家族と友達(할머니, 할아버지, 아버지, 어머니, 오빠, 언니, 누나, 형, 동생, 친구)、行事を過ごす語彙(치르다, 성묘하다, 고향이 돌아간다)、メッセージの語彙(행복하다, 건강하다, 기원하다, 바래다, 잘 있다, 만나고 싶다, 사랑하다)</p>	<p><事象> ◆家族の通過儀礼 ◆年中行事や記念日・通過儀礼の種類や過ごし方(お正月、バレンタインデー、クリスマスなど) ◆お祝いや特別な記念日の種類や過ごし方 ◆祭祀(チュサ)、法事、先祖供養など ◆行事のお祝いや慰労のことば、よく歌われている歌(1歳の誕生祝い、選暦など) ◆お正月、クリスマス、バレンタインデーなど ◆成人式、結婚式、葬式など ◆誕生日、引越、受験など。好まれるプレゼントと包装 ◆お正月、年末年始の場合:年賀状、初詣、正月の準備、主婦の仕事、お手伝いの比較</p> <p><事象のポイント> ◆最近では昔とちがってあまり伝統的な行事を祝うことが少なくなった ◆親戚、家族については、伝統的な行事と最近の潮流について理解するとよい。 ◆民族によって祝う文化が違う(在日や外国人の家庭の文化を知る)。 ◆クリスマスの場合:クリスマスのあり方、クリスマスカードの出し方に着目する。 ◆誕生日の特別な食べ物、喜ばれる誕生日プレゼント、包装の仕方、誰がご馳走するか、などに着目する。 ◆引越し祝いの種類と由来、手伝い、引っ越しの仕方(出ていくときに福を持っていかないように掃除はしない)などについて着目する。 ◆いろいろな行事の歌を通して、韓国社会の考え方や祝い方を知る。</p>
<p>韓国の高校、朝鮮学校など韓国語を扱う教室、韓国語の識字学級、日本語学校</p>		<p>他教科の内容との連繫 情報処理、美術、音楽、現代社会、書道</p>